

平成 29 年度 第 5 回調布市民健康づくりプラン・調布市食育推進基本計画 改定委員会

平成 30 年 1 月 22 日（月） 14:00～15:16

調布市保健センター 3 階健康増進室

出席：西澤委員，岡部委員，西浦委員，中川委員，塩島委員，渡辺委員

欠席：緒方委員，石田委員，芝田委員，関塚委員

1 開会

資料確認

2 議事

（1）パブリック・コメントの結果について

事務局より資料「調布市民健康づくりプラン（第 3 次）調布市食育推進基本計画（第 3 次）計画案に対するパブリック・コメントの実施結果」について説明

委員

パブリック・コメントの No. 4 だが、「プランの中に加熱式タバコを含んだ掲載に修正した」との説明があったが、「市の考え方」にはプランに文言を入れるとは書いていない。これはあえて掲載していないのか。

事務局

掲載していない理由としては、ページ等に指定がないので、意見全般として入れる関係で省略している。

委員

No. 10 だが、「市の考え方」にある「香害 110 番を開催」とはどういったイベントなのか。

事務局

昨年、NPO 法人・日本消費者連盟が、香害についての電話（香害 110 番）を 2 日間開設した。その 2 日間で 200 件を超える相談があった。全国的に気にされているものと認識しているという回答である。

委員

同じ文章に「こうした状況を踏まえ、周知する」は誰が周知するのか。

事務局

主語は市になる。

委員

前段の主語がNPO法人になっていて、次の文章が市に変わると主語が分からなくなるので、主語を入れないといけない。このままだと「NPO法人が周知する」と読める。

事務局

「市でも周知する」等と分かるように記載させていただく。

先ほどの No. 4 だが、加熱式タバコについてプランで修正していることは文言として入れるべきか、ご意見はあるだろうか。会長としては、対応していることが分かりやすいということで入れたいというお考えだろうか。

委員

「プランに文言を入れるべきではないか」という意見に対して、こういう回答でもよいとは思いますが、入れたほうがこの意見を提出した人の意図にきちんと回答していると考えた。

事務局

その点については事務局で検討させていただく。

(2) 調布市民健康づくりプラン・調布市食育推進基本計画（最終案）について

事務局より資料「調布市民健康づくりプラン・調布市食育推進基本計画（最終案）」について説明

委員

両計画の配布予定はあるのか。

事務局

庁内には配布する。

委員

市民が手に取れるような形での配布は、考えているのか。

事務局

公文書資料等と同じ扱いである。

事務局

今すぐにはお答えできないが、5年前の改定時に配布したところを参考にしつつ、健康づくりに関する事業に取り組んでいるところ等に配布したいと考えている。

委員

食育推進基本計画の第6章、主体の連携強化だが、来年度4月からの計画期間なので、組織改正の有

無を確認したほうがよいのではないかと。課名などが変わるのではないかと。

事務局

3月に印刷に入るが、入れるならば「4月から（新しい課名）に変わる」等の表現になると思うが、未定のため入れていない。

委員

表紙の絵は、誰が描いたのか。

事務局

表紙の説明をさせていただく。だるまの下に蕎麦の実を配置し、桜、調布市の鳥のメジロを配置している。メジロの左下には調布は映画の街ということで映写機を、メジロの右上には調布市の花のサルスベリを配置し、調布市に関連しているものを載せている。本体の表紙はカラーで、背景は白抜きにする予定である。

委員

5年前と同じところに配布とのことだが、図書館やコミュニティセンターにも置いてあるのか。

事務局

図書館は確実だが、コミュニティセンターへの配布は分からない。それ以外については5年前とおなじところに配布する予定である。あるとよい場所や、市民が見やすい場所はあるか。

委員

どこにあるのかわからなかった。図書館でしか見られないと思った。

事務局

本日配付した計画案は、ほぼ完成版に近いが、データの都合上、写真は全て枠のみになっている。写真も前回の委員会開催時とほぼ変わらないものを入れる予定だが、1枚だけ追加する。また、「てにをは」や、文言で気になる部分があれば教えていただけるとありがたい。

委員

プラン67ページに地域の取組として「地域などのイベントは禁煙にするなど、受動喫煙に配慮する」を追加したとのことだが、追加の経緯を説明していただきたい。

事務局

健康づくり推進協議会で、受動喫煙について配慮する内容を計画に盛り込んでほしいという話があり、タバコだけのプランではないので、検討したうえで、地域の取組に追加したという経緯である。

委員

子どもが集まるイベント等で、今までの取組が十分ではなかったことになるのか。

事務局

基本的に市の会場を使って開催するものについては、市が管理する施設の受動喫煙防止に関する基本的な方針に、屋内禁煙、敷地内禁煙が定められているので、喫煙対策、受動喫煙対策は取られている。それ以外の公園等、公園も市が管轄するが、市の公園については規定をしていないので、公園等に関しては周りでタバコを吸っている様子を見かけると市民からも、委員からも話が出ているので、それらに取り組んでいくということで追加している。

委員

よい取組だと思うが、議論した経過を知りたかった。

委員

私も受動喫煙対策はとてもよいことだと思っている。学校の敷地でやる地域運動会や地域のイベント等では禁煙をはっきり言えるが、公園での盆踊りや夏祭りではなかなか言えない。明記していただけると禁煙にしましょうと言えるので、問題ないと思う。開催主体等との兼ね合いで問題になるかと心配にはなるが、よいことだと思う。

委員

まだ訂正できるのであれば、資料 204 ページからの食育の取組だが、社会福祉協議会にも調査が届いていたとは知らなかったので、内容に相違がないか確認させていただきたい。

事務局

庶務担当者に回答いただいていると思う。

委員

確認する。

委員

今回のプランと食育には、地域との協働や連携という言葉が出てきているが、平成 30 年度に向けて地域との連携として具体的に考えているものは何かあるのか。さまざまな面で地域が弱くなっており、協働や連携は大変だと感じている。プランや食育に対して、一緒にやろうと考えていることを、ここ以外で何かあれば教えていただきたい。

事務局

健康づくりプラン推進連絡会で第 5 章の各課の取組内容を見ていただきながら、各課でどのようなことが協力し合えるかという話し合いをした。子ども家庭支援センターに孫を連れてくる高齢者が増えている。また保護者も親の介護で悩んでいる人もいる。例えば子どもを対象とした場所で高齢者向けに情報提供できる冊子を置くというところから始まり、地域でさまざまな活動をしている課と一緒に何かできないかという話し合いはしている。具体的なものは未定だが、話し合いができたので、来年度は自課の事業を外に出して協働し、地域に行く足掛かりになればと思っている。

委員

体を動かすことに対する項目がとて少なく気になっている。東京都の体力測定で小学生・中学生の身体能力は全国レベルでも低いと言われており、運動をやる子とやらない子の格差が出てきている。全体のレベルアップのための方策が必要だと思っているが、そういう面での取組内容や、市の全体施策の中でどこに位置付けてよいかも見えない。プランでは、体を動かそう、歩こうなど出ているので、プランだからこの段階でよいのかもしれないと思いながら読んでいたが、気になっている。具体的には次のステップでやるのか。

事務局

65 ページの目標3の3段落目に、「バランスの良い食事をとり、個々に合った身体活動を」という文章のあたりをもっと膨らませて、スポーツや運動をやるという文言を記載したほうがよいということか。

委員

66 ページ「一人ひとりの行動目標」にある「身体活動・運動」では、運動については「取り組んでいる運動は続ける」となっている。目標は確かにそうだが、今おっしゃった部分も含めて、もう少し掘り下げて欲しかった。

事務局

どのような内容が考えられるだろうか。発信したいメッセージはどのようなところか。

委員

「体を動かすことを心がける」「取り組んでいる運動は続ける」に加えて、「自分に合った運動をやってみましょう」という言葉が欲しい。

事務局

事務局で文章を検討させていただく。

委員

体力的な面なのか。体力が低くてスポーツを振興していこうということならば、スポーツ振興課の計画になる。健康づくりでは運動不足の解消につなげることではないかと思う。

委員

ゲームばかりでなく「体を動かすことをやりましょう」という方向に持っていきたい。体育協会では具体的なことに取り組んでいるが、健康づくりとしては体を動かそうと言いたい。

委員

スポーツまでではなく、歩くレベルをイメージしているのか。

事務局

プランは対象が広く、スポーツの段階まで達しない人も全部含めて対象としているので、レベルは難しい。

委員

68 ページの成果指標に「運動やスポーツをしている子どもの割合」とあるので、やはりスポーツ的な要素も入ったほうがよいと思う。68 ページの基本計画に、スポーツ・レクリエーション活動とあるが、ここまで踏み込んだ表記にするのか。その前段階の「体を動かしましょう、歩きましょう」という中間を攻めるのか。スポーツ・レクリエーション活動に積極的に参加するという表現では、イメージとしてハードルが高いだらうか。

事務局

運動している人か、全く運動していない人かで分かれたときに、目標として体を動かしてない人に少しでも体を動かしてもらいたいという内容は消極的と言える。しかし、運動やスポーツをしている子どもの割合、運動習慣者の割合という成果指標があるので、もう少し積極的な体を動かす内容も盛り込んでよいと感じた。これは持ち帰らせていただき、追加・追記したいと思う。

事務局

運動やスポーツができる状況にある人ばかりではないので、消極的な表現になった。

事務局

掲載場所の意見もいただいたので検討させていただく。追加する方向で考えたい。

<全5回の改定委員会で話し合った感想について>

委員

初めて計画策定委員会に携わらせていただいた。会長という立場で司会もあり、いかに有意義な場のようにすればよいかを考えて行っていた。また、計画も読みながら意見も考えないといけなくて大変だった。最終的には自発的に意見が出てきたので、よい委員会だったと思う。

委員

社会福祉協議会という組織の参加で、所属は総務課なので、他部署の事業は詳細を知らない状況だったが、自分の組織をより深く知るきっかけになれたと思う。同様に、他部署、他課や市民の皆さんの意見を聞けて、参加してよかった。視野が広がった気がした。

委員

市全体の計画を見ることができるといって貴重な機会を与えていただき、改めて勉強になった。作って終わりではないのは当然だが、これをどう生かしていくか、とても難しい。各課のプランなどが出ているが、私も他課の取組はほぼ知らなかった。横の連携をとり、同じ方向を向き合えるものがあれば一緒にやっていく、市民委員からも配架するのはどうかと、どこにあるのかという議論もあった。計画書なるべく手に取っていただき、市の事業を知り、参加していただける工夫が必要だと改めて感じた。

岡部委員

プランや食育基本計画について、委員の意見が反映されたり、市民の意見も網羅されたりして、計画が1冊になっていくので、是非出来上がったなら市民の目が届くところに配置を考えていただきたい。

委員

知らなかったことをたくさん知ることができ、健康や食育などを見つめ直すよい機会になった。よい経験をさせてもらって感謝している。職員の方々が尽力されている姿も見られてよかったし、市に対する見方がよい方向に変わった。

委員

よい勉強になった。まずは、市役所の若い人たちが頑張っていると、初めて実感を得た。それから、市は幅広く取り組んでおり大変さを感じた。ぜひ頑張っていたきたい。

事務局

今後この冊子は市民が手に取るのが大前提なので、配架場所も検討していく。また、市ホームページにも掲載する予定なので、周知も併せてしていきたい。

3 連絡事務

ご意見シートの提出（1月24日（水）必着）

4 閉会

以上